

# 令和4年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



令和3年7月9日

上場会社名 株式会社ブロッコリー

上場取引所 東

コード番号 2706 URL <https://www.broccoli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 善之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員コーポレート本部長 (氏名) 渡邊 朋浩

TEL 03-6685-1366

四半期報告書提出予定日 令和3年7月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和4年2月期第1四半期の業績(令和3年3月1日～令和3年5月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年2月期第1四半期	1,482	16.3	82	△65.9	89	△64.4	61	△64.8
3年2月期第1四半期	1,275	△0.4	243	294.5	252	316.3	173	313.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
4年2月期第1四半期	6.98	—
3年2月期第1四半期	19.83	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
4年2月期第1四半期	10,845	9,582	88.4
3年2月期	10,977	9,749	88.8

(参考)自己資本 4年2月期第1四半期 9,582百万円 3年2月期 9,749百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
3年2月期	—	0.00	—	26.00	26.00
4年2月期	—				
4年2月期(予想)		0.00	—	26.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

令和4年2月期(予想)の配当性向は、50.5%となります。

## 3. 令和4年2月期の業績予想(令和3年3月1日～令和4年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	△4.9	700	△27.7	730	△27.0	450	△13.8	51.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	4年2月期1Q	8,747,642 株	3年2月期	8,747,642 株
② 期末自己株式数	4年2月期1Q	372 株	3年2月期	372 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	4年2月期1Q	8,747,270 株	3年2月期1Q	8,747,270 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成されたものでありますが、業績等につきましては様々な要因により、今後大きく異なる可能性があります。
- 2.当社は、「財務諸表等規則」に従い財務諸表を作成しております。
- 3.当社は、令和元年8月30日に株式会社LANTERN ROOMSの株式を100%取得したことに伴い、同社を子会社化しておりますが、資産、売上高、損益、利益剰余金に及ぼす影響が僅少であり、現時点では重要性が乏しいため、非連結子会社としております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社が属するエンターテインメント業界では、国内外のスマートフォンゲーム市場の成長・国内家庭用ゲーム市場のゆるやかな拡大傾向を背景に、ゲームコンテンツ市場と関連するキャラクター市場が世界的にも長期的に高成長が続くと見込まれておりますが、令和2年に新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経済活動が停滞し、令和3年に入りましても、一部では持ち直しの動きが見られますが、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況下における、当第1四半期累計期間（自 令和3年3月1日 至 令和3年5月31日）の経営成績の概況は、以下のとおりであります。

まず、「うたの☆プリンスさまっ♪」におきましては、4月より全国のファミリーマートにて「うたの☆プリンスさまっ♪ Shining Live」コラボキャンペーンを開催。限定のオリジナルグッズ販売を行いました。

同月に、株式会社 丸井グループ開催のイベント「PRINCE CAT -SPRING HAS COME-」を渋谷マルイ始め全国6カ所にて開催。緊急事態宣言に伴い、地域毎に開催延期等もありましたが、6月以降、各店舗の営業再開に伴い本イベントも開催しております。これらの結果、関連グッズの売上高・売上総利益は、前年並みを確保することが出来ました。

関連ゲームアプリ「うたの☆プリンスさまっ♪ Shining Live」の売上高・売上総利益につきましては、前年を下回る結果となりました。

関連CDは、3月にQUARTET NIGHTメンバーによるアイドルソング2作を発売。オリコン週間シングルランキング3位と4位にランクインを果たし、関連CDの売上高・売上総利益は前年並みを確保することが出来ました。

その他、3月に劇場版の新シリーズ「劇場版 うたの☆プリンスさまっ♪ マジLOVEスターリッシュツアーズ」を2022年公開予定として発表。併せて、昨年開催延期となっておりました埼玉メットライフドームでの「うたの☆プリンスさまっ♪ マジLOVELIVE 7th STAGE」は、本年11月に振替公演開催の発表を行っております。

「ジャックジャンヌ」につきましては、3月にNintendo Switch™用ゲームソフト「ジャックジャンヌ」を発売。株式会社KADOKAWA Game Linkage発行の「『週刊ファミ通』2021年4月1日増刊号」内、「新作ゲーム クロスレビュー」におきまして、「プラチナ殿堂」入りの評価を獲得する等、好調なスタートを切ることが出来ました。今後更なるコンテンツの成長に向け、拡販施策等を行ってまいります。

他社ライセンスグッズにつきましては、昨年11月より株式会社 丸井グループ開催のイベント「呪術廻戦 limited shop -マルイ編-」にて呪術廻戦グッズを発売し大きな反響をいただきました。当第1四半期におきましても、大手コンビニエンスストア及びアニメイトを中心に、取扱いが拡大したこと等により、他社ライセンスグッズは前年を大幅に上回る売上高・売上総利益を確保いたしました。

トレーディングカードゲーム「Z/X -Zillions of enemy X- (ゼクス ジリオンズ オブ エネミー エックス)」(以下、「Z/X (ゼクス)」)は、関連商品の通販強化等も行ってまいりましたが、新システム「アルターブレイク」を搭載した4月発売のブースターパック「極点超越編 進化<アルターブレイク>」の予約に係る販促注力期間に緊急事態宣言が重なりました影響等を受け、前年を下回る売上高・売上総利益になりました。

販売費及び一般管理費につきましては、イベント開催や新作ゲーム発売に伴い販促費が増加したことから、375百万円（前年同期比15.9%増）となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,482百万円（前年同期比16.3%増）となりましたが、営業利益は、82百万円（同65.9%減）、経常利益は89百万円（同64.4%減）、四半期純利益は、61百万円（同64.8%減）となり、「劇場版 うたの☆プリンスさまっ♪ マジLOVEキングダム」関連のロイヤリティ収入が寄与した昨年の第1四半期には至りませんが、この点、通期業績予想時には織り込んでおり、令和4年2月期通期業績予想及び配当予定につきましては、現時点において変更はありません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は7,967百万円で、前事業年度末に比べ286百万円減少しております。主な内容は、商品及び製品の増加75百万円、その他の増加17百万円などの増加要因に対し、現金及び預金の減少61百万円、売掛金の減少231百万円、仕掛品の減少66百万円、映像コンテンツの減少19百万円などの減少要因であります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は2,878百万円で、前事業年度末に比べ154百万円増加しております。主な内容は、無形固定資産の増加121百万円、投資その他資産の増加46百万円などの増加要因と、有形固定資産の減少12百万円などの減少要因であります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は1,148百万円で、前事業年度末に比べ15百万円増加しております。主な内容は、その他の増加要因180百万円などの増加要因と、買掛金の減少7百万円、未払法人税等の減少129百万円、賞与引当金の減少27百万円などの減少要因であります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は114百万円で、前事業年度末に比べ18百万円増加しております。主な内容は、役員退職慰労引当金の増加19百万円などの増加要因であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は9,582百万円で、前事業年度末に比べ166百万円減少しております。これは、四半期純利益61百万円が計上された一方で、剰余金の配当227百万円が行われたことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和4年2月期通期業績予想及び配当予定につきましては、変更はありません。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成しておりますが、業績等につきましては経営環境の変化やその他様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、その場合には開示が可能となった時点で速やかに業績予想の修正を公表いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和3年2月28日)	当第1四半期会計期間 (令和3年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,621,667	6,560,424
売掛金	643,426	412,112
商品及び製品	302,297	377,722
仕掛品	367,801	301,791
原材料及び貯蔵品	4,196	2,589
映像コンテンツ	21,280	1,282
その他	295,862	313,012
貸倒引当金	△2,629	△1,643
流動資産合計	8,253,902	7,967,291
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,220,963	1,220,963
減価償却累計額	△308,403	△319,613
建物(純額)	912,559	901,349
土地	907,414	907,414
その他	176,591	180,388
減価償却累計額	△121,126	△126,703
その他(純額)	55,465	53,685
有形固定資産合計	1,875,439	1,862,449
無形固定資産	448,323	569,353
投資その他の資産		
その他	401,703	448,514
貸倒引当金	△2,000	△2,000
投資その他の資産合計	399,703	446,514
固定資産合計	2,723,467	2,878,317
資産合計	10,977,369	10,845,609
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	294,275	287,067
未払法人税等	168,165	38,511
返品調整引当金	82,182	81,748
賞与引当金	74,274	46,888
その他	514,047	694,353
流動負債合計	1,132,946	1,148,569
固定負債		
退職給付引当金	37,527	37,877
役員退職慰労引当金	8,666	27,686
その他	49,006	48,562
固定負債合計	95,199	114,125
負債合計	1,228,146	1,262,695

(単位：千円)

	前事業年度 (令和3年2月28日)	当第1四半期会計期間 (令和3年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,361,275	2,361,275
資本剰余金	2,066,627	2,066,627
利益剰余金	5,319,043	5,152,628
自己株式	△781	△781
株主資本合計	9,746,164	9,579,749
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,058	3,163
評価・換算差額等合計	3,058	3,163
純資産合計	9,749,222	9,582,913
負債純資産合計	10,977,369	10,845,609

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 令和2年3月1日 至 令和2年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 令和3年3月1日 至 令和3年5月31日)
売上高	1,275,081	1,482,675
売上原価	707,766	1,024,599
売上総利益	567,315	458,075
販売費及び一般管理費	323,698	375,086
営業利益	243,617	82,988
営業外収益		
受取利息及び配当金	258	512
不動産賃貸料	18,951	17,426
その他	1,429	1,735
営業外収益合計	20,639	19,675
営業外費用		
支払利息	41	18
不動産賃貸費用	12,165	12,818
営業外費用合計	12,207	12,836
経常利益	252,049	89,827
税引前四半期純利益	252,049	89,827
法人税等	78,625	28,812
四半期純利益	173,424	61,014

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社はエンターテインメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。